

わたしの 妊娠報告書

記載日 令和7年8月7日

おめでた宣言日	令和6年12月
年齢 (40) 歳	平成・令和 (30) 年 (4) 月 結婚
私は (顕微授精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(1) 年 (5) ヶ月
他院での治療歴	なし (あり) → 内容 (タイミング法)
ASKAでの治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵	タイミング法 (1) 回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発	タイミング法 () 回
<input type="checkbox"/> 自然排卵 + 人工授精	(2) 回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 + 人工授精	(1) 回
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法	() 回
<input type="checkbox"/> 体外受精	(1) 回
<input type="checkbox"/> 顕微授精	(4) 回

妊娠の秘訣・心がけていた事

高齢の約 頑張るだけ 走り 期限を
決めた。精神的な負担の方が大きかった。
最初で最後の授精で妊娠した。
あきらめた(肩の力が抜けた)タイミングだった。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

高感だった為ゆくに体外受精に頼った。
注射をしても、卵は昏たず"受精もせず"
痛みだけを蓄積する時間もあつた。
仕事もしていたので、精神的なダメージが
大きかつた。

その他 (通院・治療費・家族など)

保険がなくなったので、費用は負担にはならな
かつた。遅くまで"閉じてるので、仕事も休けてお
くはベストな病院だったと思つた。
夫は、つらさを理解してもらえず、すべて他人事だ
つたので、しんがも知らなかつた。夫の理解は必須!!

治療中の方へのアドバイス

(人目、二人目も肩の力が抜けた時に妊娠
した為、治療に追われただけの生活にならな
らにしてほしい。
夫の理解はぶつからせても絶対許さないと
思ひ込めてもらえたらいい。

スタッフへのご意見など

とても丁寧な対応ありがとうございました。
また、とても長い病院だったので
思います。